

令和 8 年度土木工事標準積算基準書 正誤表

基 準 書	土木工事標準積算基準書	ページ	1 - 2 - ② - 11
誤		正	備考
2-2 運搬費 (1) 運搬費の積算 運搬費として積算する内容は次のとおりとする。 1) 建設機械器具の運搬等に要する費用 (イ) 質量20 t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬 (ロ) 仮設材等（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等）の運搬 (ハ) 重建設機械の分解・組立及び輸送に要する費用 (ニ) 質量20 t 未満の建設機械の搬入、搬出及び現場内小運搬 (ホ) 器材等の搬入、搬出及び現場内小運搬 ただし、支給品及び現場発生品については、積上げ積算し、直接工事費に計上するものとする。 (ヘ) 建設機械の自走による運搬 (ト) 建設機械等の日々回送（分解・組立、輸送）に要する費用 (チ) 質量20 t 以上の建設機械の現場内小運搬 2) 鋼桁、門扉等工場製作品の運搬（直接工事費に計上） 3) 1)～2)に掲げるもののほか、工事施工に必要な建設機械器具の運搬等に要する費用 4) 建設機械等の運搬基地 運搬基地は、建設機械等の所在場所等を勘案のうえ決定するものとする。 (2) 積算方法 1) 共通仮設費に計上される運搬費 (イ) 共通仮設費率に含まれる運搬費 a. 質量20 t 未満の建設機械の搬入、搬出及び現場内小運搬（分解・組立を含む） b. 器材等（型枠材、支保材、足場材、仮囲い、敷鉄板（敷鉄板設置撤去工で積上げた分は除く）、作業車（P C 橋片持ち架設工）、橋梁ベント、橋梁架設用タワー、橋梁用架設桁設備、排砂管、トレミー管、トンネル用スライドセントル等）の搬入、搬出及び現場内小運搬 c. 建設機械の自走による運搬（トラッククレーン油圧伸縮ジブ型最大吊上能力80 t 以上は、積上げるものとする。） d. 建設機械等（重建設機械を含む）の日々回送（分解・組立、輸送）に要する費用 e. 質量20 t 以上の建設機械の現場内小運搬 ただし、特に f. 上記(1)、1)、(ハ)の中で、トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型最大吊上能力20～50 t 吊）・ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型最大吊上能力20～70 t 吊）の分解・組立及び輸送に要する費用 (ロ) 積上げ項目による運搬費 a. 質量20 t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬 なお、運搬される建設機械の運搬中の賃料又は損料についても積上げるものとする。 建設機械の日々回送の場合は、共通仮設費率に含む。 b. 仮設材等（鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等）の運搬 ただし、敷鉄板については敷鉄板設置・撤去工で積上げた敷鉄板を対象とする。 c. 重建設機械の分解・組立及び輸送に要する費用 （運搬中の本体賃料・損料および分解・組立時の本体賃料を含む。） d. 上記（イ）及び（ロ）a～cにおける自動車航送船使用料に要する費用 （運搬中の本体賃料・損料を含む。） 2) 直接工事費に計上される運搬費 a. 鋼桁、門扉等工場製作品の運搬 b. 支給品及び現場発生品の運搬		現行どおり (2) 積算方法 1) 共通仮設費に計上される運搬費 (イ) 共通仮設費率に含まれる運搬費 a. 質量20 t 未満の建設機械の搬入、搬出及び現場内小運搬（分解・組立を含む） b. 器材等（型枠材、支保材、足場材、仮囲い、敷鉄板（敷鉄板設置撤去工で積上げた分は除く）、作業車（P C 橋片持ち架設工）、橋梁ベント、橋梁架設用タワー、橋梁用架設桁設備、排砂管、トレミー管、トンネル用スライドセントル等）の搬入、搬出及び現場内小運搬 c. 建設機械の自走による運搬（トラッククレーン油圧伸縮ジブ型最大吊上能力80 t 以上は、積上げるものとする。） d. 建設機械等（重建設機械を含む）の日々回送（分解・組立、輸送）に要する費用 e. 質量20 t 以上の建設機械の現場内小運搬 ただし、特殊な現場条件等により分解・組立を必要とする場合は別途加算出来るものとする。 f. 上記(1)、1)、(ハ)の中で、トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型最大吊上能力20～50 t 吊）・ラフテレーンクレーン（油圧伸縮ジブ型最大吊上能力20～70 t 吊）の分解・組立及び輸送に要する費用 現行どおり	記載の訂正
1-2-②-11			1/4

基 準 書		土木工事標準積算基準書		ページ		Ⅱ-5-②-27																																																																																																											
誤				正				備考																																																																																																									
表5.6 H形鋼打込長(電動式パイロハンマ) <table><tr><th colspan="2">型式</th><th>H200</th><th>H250</th><th>H300</th><th>H350</th><th>H400</th></tr><tr><td>打込長(m)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>2以下</td><td>入力番号 ①</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>4以下</td><td>入力番号 ②</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>6以下</td><td>入力番号 ③</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>9以下</td><td>入力番号 ④</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>12以下</td><td>入力番号 ⑤</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>15以下</td><td>入力番号 ⑥</td><td>—</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>19以下</td><td>入力番号 ⑦</td><td>—</td><td>—</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>23以下</td><td>入力番号 ⑧</td><td>—</td><td>—</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>25以下</td><td>入力番号 ⑨</td><td>—</td><td>—</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr></table> (注) 1. ○印は、型式毎の選択可能な打込長を示したものである。 2. 打込長は、地表面よりのH形鋼の打込長であり、H形鋼長とは異なる。				型式		H200	H250	H300	H350	H400	打込長(m)							2以下	入力番号 ①	○	○	○	○	○	4以下	入力番号 ②	○	○	○	○	○	6以下	入力番号 ③	○	○	○	○	○	9以下	入力番号 ④	○	○	○	○	○	12以下	入力番号 ⑤	○	○	○	○	○	15以下	入力番号 ⑥	—	○	○	○	○	19以下	入力番号 ⑦	—	—	○	○	○	23以下	入力番号 ⑧	—	—	○	○	○	25以下	入力番号 ⑨	—	—	○	○	○	現行どおり 2. 打込長は、地表面よりのH形鋼の打込長であり、H形鋼長とは異なる。 (3) パイロハンマとウォータージェット併用施工による鋼矢板等の打込み(鋼矢板) <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB250220</td><td>施工単位</td><td>枚</td></tr><tr><td colspan="4">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td><td>J 5</td><td>J 6</td></tr><tr><td>施工場所</td><td>パイロハンマの規格</td><td>鋼矢板1枚当り 継施工箇所数</td><td>鋼矢板型式</td><td>鋼矢板打込長</td><td>最大N値</td></tr><tr><td>①陸上 ②水上</td><td>(表5.1)</td><td>(表5.2)</td><td>(表5.8)</td><td>(表5.9)</td><td>①50≦N_{max}<100 ②100≦N_{max}≦180 ③N_{max}<50</td></tr></table> (注) 1. J 2条件で①を選択した場合は、J 5条件で⑦～⑨、J 6条件で②を選択することは出来ない。 2. J 2条件で②を選択しJ 5条件で①～⑥を選択した場合は、J 6条件は②とする。 3. J 2条件で③を選択した場合は、J 4条件で⑧、⑨を選択することは出来ない。 4. J 2条件で④を選択した場合は、J 4条件で①～⑦を選択することは出来ない。 5. J 6条件③は、N_{max}<50で、転石等により、やむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要がある場合に適用する。 6. 鋼矢板の賃料又は材料費については「WB250150、WB250160、WB250170」により別途計上する。 7. J 1条件で②を選択した場合は、必要に応じて繫船費及び回航費用を共通仮設費に計上すること。 8. 本コードは、J 3条件継杭有 D12WB250220で入力した箇所数分の継施工費が計上される。				施工歩掛コード	WB250220	施工単位	枚	入 力 条 件				各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	施工場所	パイロハンマの規格	鋼矢板1枚当り 継施工箇所数	鋼矢板型式	鋼矢板打込長	最大N値	①陸上 ②水上	(表5.1)	(表5.2)	(表5.8)	(表5.9)	①50≦N _{max} <100 ②100≦N _{max} ≦180 ③N _{max} <50	記載の訂正	
型式		H200	H250	H300	H350	H400																																																																																																											
打込長(m)																																																																																																																	
2以下	入力番号 ①	○	○	○	○	○																																																																																																											
4以下	入力番号 ②	○	○	○	○	○																																																																																																											
6以下	入力番号 ③	○	○	○	○	○																																																																																																											
9以下	入力番号 ④	○	○	○	○	○																																																																																																											
12以下	入力番号 ⑤	○	○	○	○	○																																																																																																											
15以下	入力番号 ⑥	—	○	○	○	○																																																																																																											
19以下	入力番号 ⑦	—	—	○	○	○																																																																																																											
23以下	入力番号 ⑧	—	—	○	○	○																																																																																																											
25以下	入力番号 ⑨	—	—	○	○	○																																																																																																											
施工歩掛コード	WB250220	施工単位	枚																																																																																																														
入 力 条 件																																																																																																																	
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6																																																																																																											
	施工場所	パイロハンマの規格	鋼矢板1枚当り 継施工箇所数	鋼矢板型式	鋼矢板打込長	最大N値																																																																																																											
	①陸上 ②水上	(表5.1)	(表5.2)	(表5.8)	(表5.9)	①50≦N _{max} <100 ②100≦N _{max} ≦180 ③N _{max} <50																																																																																																											
Ⅱ-5-②-27								2/4																																																																																																									

基 準 書	土木工事標準積算基準書	ページ	Ⅱ-5-⑮-5																																																																									
誤		正	備考																																																																									
7. 施工単価入力基準表 (1) 敷鉄板設置・撤去 <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB253610</td><td>施工単位</td><td>m2</td></tr><tr><td>施 工 区 分</td><td>入 力 条 件</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td>J 1</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>作業区分</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>①設置 ②撤去 ③設置・撤去</td><td colspan="2"></td></tr></table> (2) 敷鉄板賃料 <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB253630</td><td>施工単位</td><td>枚</td></tr><tr><td>施工区分</td><td>入 力 条 件</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td></tr><tr><td>J 4</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>敷鉄板の 種類</td><td>不足分弁償金 の有無 (t/枚) ①無 ②有 (表7.1) (実数入力)</td><td>供用日数 (日) (実数入力)</td><td>整備費の 有無 ①無 ②有</td></tr></table> (注) 1. J 1 条件で⑦を選択し、J 2 条件で①を選択した場合は、減額補正のための比較検討を行った結果を敷鉄板賃料 (Y-7214000) [円/枚・日] に単価登録すること。 2. J 1 条件で⑦を選択し、J 2 条件で②を選択した場合は、不足分弁償金 (Y-7212000) [円/枚] を単価登録すること。 3. J 1 条件で⑦を選択し、J 2 条件で①を選択し、J 6 条件で②を選択した場合は、整備費 (Y-721000) [円/枚] を単価登録すること。 4. J 2 条件で②を選択した場合は、J 3～J 6 条件は選択出来ない。 5. 供用日数が22日(2ヶ月)を超える場合は別途考慮するものとする。 6. J 3 条件の供用日数は、賃料計上限額である施工業者が入手可能な購入価格(市中価格)の90%を超えないように調整のうえ入力すること。また、本コードは、J 1 条件が①～⑥の場合について賃料の減額補正のための比較検討を考慮している。 表7.1 敷鉄板の種類 <table><tr><th>規格</th><th>入力番号</th></tr><tr><td>22× 914×1,829(mm)</td><td>①</td></tr><tr><td>22×1,219×2,438(mm)</td><td>②</td></tr><tr><td>22×1,524×6,096(mm)</td><td>③</td></tr><tr><td>22×1,524×3,048(mm)</td><td>④</td></tr><tr><td>25×1,524×6,096(mm)</td><td>⑤</td></tr><tr><td>25×1,524×3,048(mm)</td><td>⑥</td></tr><tr><td>各種</td><td>⑦</td></tr></table> Ⅱ-5-⑮-5		施工歩掛コード	WB253610	施工単位	m2	施 工 区 分	入 力 条 件			各 種	J 1			作業区分			①設置 ②撤去 ③設置・撤去			施工歩掛コード	WB253630	施工単位	枚	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	J 4			敷鉄板の 種類	不足分弁償金 の有無 (t/枚) ①無 ②有 (表7.1) (実数入力)	供用日数 (日) (実数入力)	整備費の 有無 ①無 ②有	規格	入力番号	22× 914×1,829(mm)	①	22×1,219×2,438(mm)	②	22×1,524×6,096(mm)	③	22×1,524×3,048(mm)	④	25×1,524×6,096(mm)	⑤	25×1,524×3,048(mm)	⑥	各種	⑦	現行どおり (2) 敷鉄板賃料 <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB253630</td><td>施工単位</td><td>枚</td></tr><tr><td>施工区分</td><td>入 力 条 件</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td></tr><tr><td>J 4</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>敷鉄板の 種類</td><td>不足分弁償金 の有無 (t/枚) ①無 ②有 (表7.1) (実数入力)</td><td>供用日数 (日) (実数入力)</td><td>整備費の 有無 ①無 ②有</td></tr></table> (注) 1. J 1 条件で⑦を選択し、J 2 条件で①を選択した場合は、減額補正のための比較検討を行った結果を敷鉄板賃料 (Y-7214000) [円/枚・日] に単価登録すること。 2. J 1 条件で⑦を選択し、J 2 条件で②を選択した場合は、不足分弁償金 (Y-7212000) [円/枚] を単価登録すること。 3. J 1 条件で⑦を選択し、J 2 条件で①を選択し、J 4 条件で②を選択した場合は、整備費 (Y-721000) [円/枚] を単価登録すること。 4. J 2 条件で②を選択した場合は、J 3～J 4 条件は選択出来ない。 5. 供用日数が22日(2ヶ月)を超える場合は別途考慮するものとする。 6. J 3 条件の供用日数は、賃料計上限額である施工業者が入手可能な購入価格(市中価格)の90%を超えないように調整のうえ入力すること。また、本コードは、J 1 条件が①～⑥の場合について賃料の減額補正のための比較検討を考慮している。 現行どおり		施工歩掛コード	WB253630	施工単位	枚	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1	J 2	J 3	J 4			敷鉄板の 種類	不足分弁償金 の有無 (t/枚) ①無 ②有 (表7.1) (実数入力)	供用日数 (日) (実数入力)	整備費の 有無 ①無 ②有	記載の訂正 3/4
施工歩掛コード	WB253610	施工単位	m2																																																																									
施 工 区 分	入 力 条 件																																																																											
各 種	J 1																																																																											
	作業区分																																																																											
	①設置 ②撤去 ③設置・撤去																																																																											
施工歩掛コード	WB253630	施工単位	枚																																																																									
施工区分	入 力 条 件																																																																											
各 種	J 1	J 2	J 3																																																																									
	J 4																																																																											
	敷鉄板の 種類	不足分弁償金 の有無 (t/枚) ①無 ②有 (表7.1) (実数入力)	供用日数 (日) (実数入力)	整備費の 有無 ①無 ②有																																																																								
規格	入力番号																																																																											
22× 914×1,829(mm)	①																																																																											
22×1,219×2,438(mm)	②																																																																											
22×1,524×6,096(mm)	③																																																																											
22×1,524×3,048(mm)	④																																																																											
25×1,524×6,096(mm)	⑤																																																																											
25×1,524×3,048(mm)	⑥																																																																											
各種	⑦																																																																											
施工歩掛コード	WB253630	施工単位	枚																																																																									
施工区分	入 力 条 件																																																																											
各 種	J 1	J 2	J 3																																																																									
	J 4																																																																											
	敷鉄板の 種類	不足分弁償金 の有無 (t/枚) ①無 ②有 (表7.1) (実数入力)	供用日数 (日) (実数入力)	整備費の 有無 ①無 ②有																																																																								

基 準 書	土木工事標準積算基準書	ページ	IV-3-⑮-2												
誤		正	備考												
6. 排水管清掃車運転時間 管渠清掃及び側溝清掃の作業に必要な運転時間は、次式による。 $T_1 = \frac{L}{A_1(\text{又は}A_2)} + L \times q_1(\text{又は}q_2) \times t + \frac{\varnothing}{v}$ T_1 : 排水管清掃車の運転時間 (h) (給水、移動、アイドリング等の全時間を含む) L : 清掃延長 (m) A_1 : 時間当りの作業量(管渠) (m/h) A_2 : 時間当りの作業量(側溝) (m/h) q_1 : 管渠清掃 1 m 当り使用水量 (m³/m) q_2 : 側溝清掃 1 m 当り使用水量 (m³/m) t : 水 1 m³を給水するのに要する時間 (h/m³) $\varnothing$: 移動距離 (km) v : 移動速度 (km/h) 集水樹清掃の作業に必要な運転時間は、次式による。 $T_2 = \frac{N}{A_3} \frac{\varnothing}{v} + N \times q_3 \times t + \frac{\varnothing}{v}$ T_2 : 排水管清掃車の運転時間 (h) (給水、移動、アイドリング等の全時間を含む) N : 清掃数(個) A_3 : 時間当りの作業量(個/h) q_3 : 集水樹清掃 1 個当り使用水量 (m³/個) t : 水 1 m³を給水するのに要する時間 (h/m³) $\varnothing$: 移動距離 (km) v : 移動速度 (km/h) (1) 時間当り清掃作業量(管渠) (A_1) <table><caption>表6. 1 時間当り清掃作業量(管渠)(A_1) (m/h)</caption><tr><th>堆積率 \ 管径</th><th>φ 200mm 以上 φ 400mm 未満</th><th>φ 400mm 以上 φ 800mm 未満</th><th>φ 800mm 以上 φ 1,000mm 以下</th></tr><tr><td>50 % 未 満</td><td>40</td><td>24</td><td>15</td></tr><tr><td>50 % 以 上</td><td>27</td><td>18</td><td>11</td></tr></table> (注) 1. 堆積率は、次式による。 $\text{堆積率} = \frac{\text{堆積土厚}}{\text{管径}} \times 100$ 2. 上表が適用出来るのは、泥土が水分を含んだ状態、又は固結せず機械で容易に清掃出来る場合であり、それ以外の場合は、別途考慮する。 IV-3-⑮-2		堆積率 \ 管径	φ 200mm 以上 φ 400mm 未満	φ 400mm 以上 φ 800mm 未満	φ 800mm 以上 φ 1,000mm 以下	50 % 未 満	40	24	15	50 % 以 上	27	18	11	現行どおり 集水樹清掃の作業に必要な運転時間は、次式による。 $T_2 = \frac{N}{A_3} + N \times q_3 \times t + \frac{\varnothing}{v}$ T_2 : 排水管清掃車の運転時間 (h) (給水、移動、アイドリング等の全時間を含む) N : 清掃数(個) A_3 : 時間当りの作業量(個/h) q_3 : 集水樹清掃 1 個当り使用水量 (m³/個) t : 水 1 m³を給水するのに要する時間 (h/m³) $\varnothing$: 移動距離 (km) v : 移動速度 (km/h) 現行どおり	記載の訂正
堆積率 \ 管径	φ 200mm 以上 φ 400mm 未満	φ 400mm 以上 φ 800mm 未満	φ 800mm 以上 φ 1,000mm 以下												
50 % 未 満	40	24	15												
50 % 以 上	27	18	11												
			4/4												